

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | | |
|-------|--------|-----|---------------|----|------|------|
| 科コード | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 | 3年 | 単位 | 1単位 |
| 科目コード | 202300 | 科目名 | ジュエリー素材論 | | 授業期間 | (通年) |

担当教員(代表)：大工原 瞳 共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ジュエリー・アクセサリーで使用される各種素材の知識、理解を深める。

各素材の専門企業等による特別講義、見学なども取り入れ、より専門的な知識を習得する

【授業計画】

| | | |
|----------------|-----|-----|
| 1. 金属素材について | 4コマ | ・講義 |
| ・貴金属 | | |
| ・その他の金属 | | |
| 2. 宝石の基礎知識 | 7コマ | ・講義 |
| ・カラーストーン | | |
| ・ダイヤモンド | | |
| ・真珠 | | |
| 3. メッキ加工について | 2コマ | ・講義 |
| 4. 金具・チェーンについて | 1コマ | ・講義 |

校外授業 工場、製造販売店の見学及び講義を含む

- ・御徒町ジュエリータウン
- ・金属及び、その他素材の加工、型抜き加工等の企業見学
- ・ジュエリー展示会 見学

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ジュエリー。アクセサリーで使用される素材知識を深め、理解し、活用するための授業
教員は、本校を卒業した専任講師が担当

記載者氏名 大工原 瞳

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|------------|--------|-------|------------------|------|--------|
| 科コード | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 3年 | 単位 | 2 単位 |
| 科目コード | 300300 | 科目名 | レザーグッズ | 授業期間 | (通年) |
| 担当教員(代表) : | | 山内 祐子 | 共同担当者 : | | |

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッショングッズを総合的に企画・デザインするため、各種皮革素材の特性と制作技法についての知識を習得する。
また、ソフトタイプの皮革を使用した手袋やファッショングッズを各自のデザインに合わせて制作する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

| | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. ソフトタイプのレザーとその用い方 | ・講義 · · · · · 0. 5コマ |
| 2. ベルトの一般知識 | ・講義 · · · · · 0. 5コマ |
| デザインの種類と名称、着装位置とサイズについて | |
| パターン展開とボディからの立体裁断方法 | |
| 3. ファッショングッズ (ピッグスキン) | ・講義、実習・実物製作 · · · 13コマ |
| パターン使用の縫製方法 | |
| 水張りの制作方法 | |
| 4. 手袋の一般知識と制作(ラムレザー) | ・講義、実習・実物製作 · · · 14コマ |
| 名称、手袋の歴史、用途別種類、皮革の種類、 | |
| 材料とデザイン、手入れ方法 | |
| 手の計測、パターン | |
| 縫製方法 | |

【評価方法】 S～C・F評価

学業評価 70%・授業姿勢 30%

主要教材図書

参考図書 「福島令子の手袋」(株)用美社・「私の手袋博物館」暮らしの手帳社・「SOEN EYE・アクセサリー」文化出版局

その他資料 DVD「手袋」のできるまで「ベルト」のできるまで 一般社団法人日本皮革産業連合会

授業の特徴と担当教員紹介

洋装の正装には帽子と手袋は欠かせません。ソフトタイプの皮革を用いたファッショングッズについてのデザインと技術はもちろん、学生の志向と全体のバランスを考慮して一人一人に適した指導を行います。

記載者氏名 山内 祐子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------------------------------|-----|------------------|------|--------|
| 科コード | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 3年 | 単位 | 14 単位 |
| 科目コード | 303120/303220 303321/303322 | 科目名 | 選択・帽子Ⅱ | 授業期間 | (通年) |

| | | |
|------------|-------|---------|
| 担当教員(代表) : | 板野 景子 | 共同担当者 : |
|------------|-------|---------|

【授業概要、到達目標・レベル設定】

各テーマの目的に合ったデザイン発想と展開。ファッショニ性のあるデザイン力を高め、デザインに合ったパターンの展開や表現技法を研究し、理解を深めてより完成度の高い作品制作を目指す。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

303120・デザインⅡ…2単位 303220・パターンⅡ…2単位

303321・制作実技ⅡA…4単位 303322・制作実技ⅡB…5単位

| | | |
|---|------------------|------|
| 1 帽子の制作における縫製練習 | — 制作実技 | 21コマ |
| 2 チップ(木型に変わる元型) | — デザイン・制作実技 | 28コマ |
| 3 チップ使用の帽子(春夏タイプ・秋冬タイプ) | — デザイン・制作実技 | 20コマ |
| 4 ブレード(ブレードミシン使用) (3 チップ使用の帽子と同時進行) | — デザイン・制作実技 | 20コマ |
| 5 コーディネートデザイン:文化祭 Fショー作品 | — デザイン・制作実技 | 23コマ |
| 6 卒業制作・各自のテーマ設定の下、4点以上 (卒業研究・創作、コスチュームアクセサリーと連動) | — デザイン・パターン・制作実技 | 71コマ |

* テーマごとにデザイン、パターン、製作実技と連動

【評価方法】 S～C・F評価

学業評価 70%・授業姿勢 30%

主要教材図書

参考図書 ファッション工芸講座① 帽子

その他資料 the Hat Magazine

授業の特徴と担当教員紹介

学生一人一人の志向や将来の目標を考慮して作品制作の指導にあたり、帽子制作の基本から応用まで幅広く対応。卒業制作では学生それぞれが掲げる作品のテーマをもとに、研究を深める。

記載者氏名 板野 景子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|-----------------|------|--------|
| 科コード | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科3年 | 単位 | 1 単位 |
| 科目コード | 303500 | | (帽子選択) | 授業期間 | (前期) |
| | | 科目名 | 帽子商品概論 | | |

| | |
|------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 山内 祐子 | 共同担当者 : |
|------------------|---------|

【授業概要、到達目標・レベル設定】

帽子の商品としての価値観や知識を深め、業界や生産の仕組みを理解する。
企業デザイナーとして、ファッショントレンドや、地域性、価格帯別による違いなどからも商品提案できることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

| | |
|---|-----------------------------|
| 1. 帽子業界の仕組みについて | 講義 1コマ |
| 2. 価格帯別のリサーチ1 (2021SS・ブレード) 材料ができるまでの流れ インターネットを使用しての調査と実店舗での調査 | 講義・リサーチ・プレゼンテーション 4コマ |
| 3. 価格帯別のリサーチ2 (2021SS・布帛デザイン別) インターネットを使用しての調査と実店舗での調査 サイズ展開と縫製の工夫点 | 講義・リサーチ・実習・プレゼンテーション 4コマ |
| 4. 価格帯別の提案 リサーチをもとに、素材や製造工程も考慮したデザイン提案 | 講義・リサーチ・実習・プレゼンテーション 2コマ |
| 5. 着用場面別の提案 帽子が必要な場面と機能をもとにしたデザイン提案 | 講義・グループワーク・実習・プレゼンテーション 2コマ |

【評価方法】

S～C・F評価

学業評価70%・授業姿勢30%

主要教材図書

参考図書 文化ファッション大系 ファッション工芸講座①帽子

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

実際の商品をリサーチし、グループワークやプレゼンテーションの実習も行う。就職活動や就職後にも活かせる授業です。

記載者氏名 山内 祐子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | |
|---------------------|-----------------------------|-----------|
| 科コード GC3 | 科名 帽子・ジュエリーデザイン科 3年 | 単位 5単位 |
| 科目コード 306020/306125 | 科目名 ジュエリー II デザイン・制作実技 II a | 授業期間 (通年) |

担当教員(代表) : 大工原 瞳 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ ジュエリー、アクセサリーにおけるより深い知識の習得を目指し、企業で即戦力として活躍できるスキルを目標とする。また、「作品創作」と「商品製作」の違いを理解した上で、デザイナーとして必要な商品企画力とプレゼンテーション力を養う。

【授業計画】

ジュエリー II デザイン

ジュエリー II 制作実技 a

1. ジュエリーの歴史

ジュエリー商品におけるモチーフ研究

〈16コマ〉

- ・ ジュエリーモチーフの歴史、意味、デザインについての研究
(モチーフにおけるその意味とデザインの掘り下げ)

- ・ リサーチ、研究
- ・ 商品ライン

商品企画演習 デザイン

仕様書の作成

ワックス原型制作

- ・ プrezentation

2. 金属アレルギー対応のジュエリー提案で考えられることについて

金属アレルギーについての特別講義を受けて、商品的提案の方法
E Q B C コンテストへの参加

〈8コマ〉

3. ジュエリー制作における、道具を作る

〈4コマ〉

- ・ 唐紙鎧の柄の加工、取り付け

4. コレクションライン

〈26コマ〉

- ・ コスチュームジュエリーへのアプローチ
- ・ デザインに合った素材の選択
- ・ デザインに合ったテクニックの選択
- ・ 金属加工(延展性)
- ・ デザインに合わせた工具の使い分け

アイテム: リング、ブローチ、ネックレス、ブレスレット

5. 卒業制作

〈20コマ〉

各自テーマ、コンセプトを設定し、三年間の集大成としての作品制作
(卒業研究・創作と連動)

店舗市場調査(定点観測、夏期休暇市場調査における比較)

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ファッショングジュエリーに関する知識と技術の習得
教員は、本校を卒業した専任講師が担当

記載者氏名 大工原 瞳

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|---------------------|------|------|
| 科コード GC3 | 科名 帽子・ジュエリーデザイン科 3年 | 単位 | 6単位 |
| 科目コード 306126 | 科目名 ジュエリー制作実技 IIb | 授業期間 | (通年) |

担当教員(代表):筋野 久之

共同担当者:

【授業概要、到達目標・レベル設定】

学生の自由な発想を時代の流れに融合し制作の完成度を追求、社会の変化に柔軟に対応する事を目標とする。

【授業計画】

ジュエリーリフォーム・リペア・リメイク・石留など基本的に必要な知識、石留に必要最低限な工具の制作、
石を使ったオリジナルジュエリーの制作、卒業制作に取り組む

1. 石留に必要最低限な工具の制作……4×3コマ
タガネ・金属などを叩く為の金槌、木材ブロック、ヤスリの枝部分、爪倒し用ハンドピース、石留めヤットコ
赤タガネ平2本
2. サイズ直しテクニック「アップ・ダウン」……2×3コマ
・講義、実習
3. 石留に必要最低限な工具による石枠を使った装身具の制作4点……7×3コマ
・講義、実習
① エメラルドカット爪留め
② ペアシェイプカット爪伏せ込み
③ 立爪6本爪留め
④ ハートカット伏せ込み
4. ジュエリーリフォーム・リペア・リメイク・必要な知識……3コマ
・講義、実習
石の状態力ヶ・亀裂チェック・貴金属の種類などを細かく記載してミスを防ぐ。
5. お客様のご要望に制作……5×3コマ
・実習、作品制作
石つきアクセサリー（自分以外が制作）
6. 卒業制作……9×3コマ
・実習、作品制作
個々のテーマ設定に合わせた作品制作

【評価方法】

S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

| | |
|--------|----|
| 主要教材図書 | なし |
| 参考図書 | |
| その他資料 | |

記載者氏名 筋野 久之

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|--------------|------|------|
| 科コード | GC3 | 科名 | ジュエリーデザイン科3年 | 単位 | 1 単位 |
| 科目コード | 306200 | 科目名 | メタルワーク | 授業期間 | 前期 |

担当教員(代表) : 高橋 正明 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションと親和性の高いカッティングクリスタルガラス(スワロフスキー、プレシオサなど)を使ったコスチュームジュエリーをデザイン、製作するための知識と基礎的な「よせもの」技術を、座学と実技により指導。

ファッショングッズ分野においても活用できる、デザイン企画やデザイン手法を習得。また、製作現場とのコミュニケーションを図る事が出来る程度の、基礎的知識と技術の体得。

【授業計画】

1日2コマの授業の中で、座学と実技を行う。 計14コマ

【座学】

□パワーポイントを使用し、実際の作品に触れながらの講義

DAY1 「よせもの」について

DAY2 「よせもの」の歴史について | 「挿しろう」について

DAY3 「よせもの」の可能性について

DAY4 コスチュームジュエリー製作の現場 | ブランド運営について

DAY5 ブランド資料の作り方 | ハンダ付けについて

DAY6 曲げ型について | メッキについて

DAY7 ダイヤレーンワークについて

□作品展示とプレゼンテーション、および、講評

DAY7 作品展示発表と講評

【実技】

□「よせもの」で使用する、「胡粉」の使用方法と、「挿しろう付け」の技術を学ぶ

DAY1 基礎的なデザインと寄せ1 -直線、円、星

DAY2 基礎的な挿しろう1 -直線、円、星

単純カン付けパーツの寄せ

DAY3 基礎的なデザインと寄せ2 -規則正しい放射状、決まった寸法の中でのモザイク

DAY4 基礎的な挿しろう2

-規則正しい放射状、決まった寸法の中でのモザイク

-単純カン付けパーツ

□コスチュームジュエリー製作に必要なバーナーによる「ハンダ付け」の技術を学ぶ

DAY5 熱に弱い金属パーツやダイヤレーンへのハンダ付け

□クリスタルガラスの「石留め」方法を学ぶ

DAY5 これまで製作した作品に「ツメ返し」という道具を使いクリスタルガラスを留める

□同じ曲げ線を量産製作するための方法を学ぶ

DAY6 曲げ型の製作、曲げ線の製作、曲げ線の寄せ

□メッキ工場へのメッキ出し方法を学ぶ

DAY6 これまで製作した作品にメッキ伝票(メッキ指示書)を作成し提出する

□ダイヤレーンネックレスを製作する

DAY7 ダイヤレーンネックレスを作るためのネックレス型の製作

2連ダイヤレーンネックレスの製作

【評価方法】

制作物、プレゼン力 : 制作姿勢、学習態度 : 出欠率

6 : 3 : 1

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

コスチュームジュエリー製造メーカー(有)アトリエ・エイトの代表取締役。「よせもの」技術を得意とし、ティアラや舞台衣装製作にも精通する。自社ブランド【MASAAKi TAKAHASHi】の経験から、デザイナー、職人、経営者からの目線の授業が特徴。

記載者氏名 高橋 正明

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | | |
|-------|--------|-----|---------------|----|------|------|
| 科コード | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 | 3年 | 単位 | 1 単位 |
| 科目コード | 306300 | 科目名 | エナメルワーク | | 授業期間 | (前期) |

担当教員(代表) : 大工原 瞳 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

七宝技術（有線七宝）の習得とともに、色彩構成の学習をする。

金属加工の技法、及び技術の習得（七宝制作の胎作）

- ・ 金属とガラス素材の組合せによる表現方法

【授業計画】

立体釉・メタル釉を使った 有線七宝（クロイゾネ）技法の習得

七宝の胎（金属）の加工

有線七宝を焼成し、金属と組み合わせてコスチュームアクセサリーの制作

色の構成力の学習

伝統的な有線七宝技法の習得

金属や異素材との組み合わせによる表現の拡大をはかる

人体との調和や効果的表現の学習

基礎制作（ボタン）→応用作品

アイテム：ブローチ、ペンダント、イヤリング、リング他

授業方法 講義と実習 14コマ

講評会 1コマ

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

七宝に関する知識と技術の習得

教員は、本校を卒業した専任講師が担当

記載者氏名 大工原 瞳

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | | |
|-------|--------|-----|---------------|----|------|------|
| 科コード | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 | 3年 | 単位 | 4単位 |
| 科目コード | 306400 | 科目名 | コスチュームアクセサリー | | 授業期間 | (通年) |

担当教員(代表)：板野 景子

共同担当者： 大工原 瞳

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- 創造性の追及と制作技法の研究から、オリジナルなトータルデザインと新たなアイテムの提案に取り組み、完成度を高めることを目標とする。

【授業計画】

各自の課題制作に加え、产学コラボレーション企画、各種コンテスト作品への応募や、様々な素材の扱い方とテクニックの習得を通して、各アイテムへの対応できる作品を制作する。卒業期には卒業研究・創作や帽子、ジュエリーと連動して卒業制作に取り組む。

1) 帽子、アクセサリー制作に応用される各種素材の扱い方とそのテクニック

・・・講義・実習 2コマ×4回、<8コマ>

- ガラス
- プラスチック
- 羽根
- ファッションショーで扱う素材について

2) ファッションショーでメインアイテムとなるようなアクセサリーのデザインとその発想方法

・・・実習・作品制作2コマ×8回、<12コマ>

3) 各種コンテストに向けたデザイン研究

・・・2コマ×5回、<12コマ>

「YKK ファスニングアワード」「革のデザインコンテスト」「ザッカデザイン画コンペティション」

「文化服装学院ファッションコンテスト・服飾工芸部門」等の各種コンテストの応募に向けたデザインの研究

4) 美術館、工房、アクセサリーパーツ店等の見学

・・・2コマ×6回、<14コマ>

帽子、アクセサリー制作に必要な材料店や工場・工房、美術館等の見学

5) 卒業制作

・・・2コマ×9回、<18コマ>・実習・作品制作

各選択、個々のテーマ設定に合わせた作品制作

(卒業研究・創作と連動)

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

| | |
|--------|----|
| 主要教材図書 | なし |
| 参考図書 | |
| その他資料 | |

| |
|--|
| 授業の特徴と担当教員紹介 |
| ファッションジュエリーに関する知識と技術の習得。教員は、本校を卒業した専任講師が担当 |

| |
|-------------|
| 記載者氏名 板野 景子 |
|-------------|

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | | |
|-------|--------|-----|---------------|----|------|------|
| 科コード | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 | 3年 | 単位 | 1単位 |
| 科目コード | 306500 | 科目名 | ジュエリー商品概論 | | 授業期間 | (通年) |

| | |
|------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 大工原 瞳 | 共同担当者 : |
|------------------|---------|

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ジュエリー・アクセサリー商品の知識を深め、業界や流通の仕組みを理解する。

専門企業等の見学などを取り入れ、より専門的な知識を習得する。

【授業計画】

| | | |
|-----------------------|-----|-----|
| 1. ジュエリー商品知識 | 6コマ | ・講義 |
| ・ ジュエリーについて | | |
| ・ ジュエリーの歴史 | | |
| ・ ジュエリー・アクセサリー商品について | | |
| 2. コスチュームアクセサリーについて | 4コマ | ・講義 |
| ・ ファッションにおけるアクセサリーの役割 | | |
| ・ トータルコーディネートについて | | |
| 3. ジュエリー業界について | 2コマ | ・講義 |
| 4. 流通の流れについて | 2コマ | ・講義 |
| ・ ジュエリー販売について | | |

校外授業 工場、製造販売店の見学及び講義を含む

- ・ 御徒町ジュエリータウン
- ・ 金属及び、その他素材の加工、型抜き加工等の企業見学
- ・ セイコーキュージアム
- ・ アクセサリーキュージアム 等の見学

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ジュエリー・アクセサリー商品の知識を深め、業界や流通の仕組みを理解する
教員は、本校を卒業した専任講師が担当

記載者氏名 大工原 瞳

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|-----------------|------|------|
| 科コード | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科3年 | 単位 | 2 単位 |
| 科目コード | 402210 | 科目名 | ジュエリーCAD | 授業期間 | 通年 |

担当教員(代表) : 雨宮 宏晃

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ジュエリー・アクセサリーのデザインにおいて必須となった3D-CADでのデザインを3DCADソフト『ライノセラス』を使用し、その基本技術を習得する。

また仕事の現場での基本的な流れを知るため、CADデータ作成の前段階である指示書の作成も行う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

| | |
|-------------------------|-------|
| 1. ライノジュエリーバージョンについて | 0.5コマ |
| 2. 3Dプリンターでの出力について | 0.5コマ |
| 3. CADの基本操作 | 3コマ |
| 二次元コマンドの説明 | |
| 三次元コマンドの説明 | |
| 4. 基本リングの作成 | 2コマ |
| オリジナルアクセサリーのデザイン相談 | |
| 5. 基本リング②の作成 | 3コマ |
| オリジナルアクセサリーのデザイン指示書の書き方 | |
| 6. 基本リング③の作成 | 3コマ |
| オリジナルアクセサリーのデザイン指示書の作成 | |
| 7. 複雑なリングの作成 | 3コマ |
| 手書きの三面図の作成 | |
| 基本コマンドからの展開 | |
| ラインの処理、立体化 | |
| 8. 複雑なリングの作成 | 3コマ |
| 手書きの三面図の作成 | |
| 基本～応用 | |
| 9. オリジナルアクセサリーの作成 | 6コマ |
| 10. ファイルの作成、まとめ | 6コマ |

【評価方法】

制作物(データ 及びデータのレイアウトしたファイル) 提出物と、その制作過程における課題の理解度、また出席状況などを総合的に評価する。

比重 制作物 3 : 理解度 4 : 出席状況 2 : 意欲 1

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ジュエリー・アクセサリーのデザインにおいて3D-CADでのデザインを3DCADソフト『ライノセラス』を使用し、その基本技術を習得する。

記載者氏名 雨宮 宏晃

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|------|--------|-----|------------------|------|--------|
| 科コド | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 3年 | 単位 | 2単位 |
| 科目コド | 500350 | 科目名 | デザインディレクション | 授業期間 | (通年) |

担当教員(代表) : 津村 耕佑 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

デザインの発想と展開、作品の効果的な演出まで
一貫した流れのなかで各個人の価値観を浮き彫りにしてゆく授業

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1 : 各自の嗜好から抽象的な形態を導き出す。
- 2 : その形態を連鎖させる為に相応しい素材を探求する。
- 3 : 素材と形態の連鎖方法など実験する中でアイテムをみいだしてゆく。
- 4 : アイテムの形状のイメージがうかびつつある時点で撮影し改めて形や
アイテムを再考する。
- 5 : 実験を繰り返す中でたどり着いた作品を表現したいシチュエーションを設定し
撮影する。
- 6 : 作品の展示方法を考えると同時に撮影した画像をPCで加工しビジュアル作品
も制作する。
- 7 : 作品とビジュアルの展示を通して、空間演出効果を学ぶ。

【評価方法】

S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

津村耕佑 Art director・fashion designer FINAL HOME project 主催 武蔵野美術大学空間演出デザイン学科教授
文化服装学院ファッション工芸専門課程 非常勤講師 東京藝術大学 美術学部 デザイン科 非常勤講師
1983年より三宅デザイン事務所に所属し三宅一生氏の下主にパリコレクションに関わる。
1992年ジャケット全体を収納スペースとして活用したウェアFINAL HOMEを考案する。1994年ファッションブランド
KOSUKE TSUMURA 並びFINAL HOMEを(株)A-netからスタート。パリ、ロンドン、東京でコレクションを発表。
1959年埼玉県生まれ 1982年 第52回装苑賞受賞 1992年 第21回現代日本美術展」準大賞受賞
1994年 第12回毎日ファッション大賞新人賞 2001年 織部賞受賞

記載者氏名 津村 耕佑

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | | |
|------|--------|-----|---------------|----|------|--------|
| 科コド | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 | 3年 | 単位 | 2単位 |
| 科目コド | 501100 | 科目名 | レンダリング | | 授業期間 | 通年 () |

担当教員(代表) : 河西 恵美子 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ジュエリー表現の習得、個々の特性を引き出す創作デザイン考案、デザインワークの強化。
デザイン企画力と就職活動に活用できる作品集への課題構成を目指して。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

[ジュエリーデザインの基本表現の習得] …8.5コマ

- 基本習得①カット石の表現 (ラウンド、オーバル、マーキス、ペアシェイプ、エメラルド等の角) 彩色
- 基本習得②リング表現 (上面図、正面図、側面図、立体図の基本より、デザインリングへ)
- 基本習得③ペンダント表現 (パール素材を用いてのペンダント表現)

[創作デザイン及び企画構成]

…テーマにあった発想のキーワードの資料収集と探求、オリジナルデザイン表現の企画構成作成

- デザイン展開素材研究 …3コマ
- モチーフデザイン …4コマ
- ネックレス構成デザイン …3コマ
- オリジナルデザイン図ジュエリー30点 …5.5コマ
- コンテスト応募作品 …1.5コマ

[時間内課題] …2.5コマ

- 時間内演習課題
- 前期と期末デザイン画試験

【評価方法】 [S~C・F評価]

評価基準: 学業評価80% (課題作品提出物と前期と後期末試験)、授業姿勢20% (出欠状況、授業態度を考慮)

主要教材図書 : 特になし

参考図書 : ジュエリー技法講座2 「ジュエリーデザイン画を描く」 美術出版社

その他資料 : その他資料: ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等

授業の特徴と担当教員紹介 [特徴]…個々のオリジナル作品集の効果的な構成習得。ジュエリーワークの基本からデザイン展開を的確に習得し、活用できる企画構成のデザイン力を目指す。 [担当教員]…学院のF・デザイン専攻科卒業後、専任講師にて勤務。その後ジュエリー会社にてデザイナーを経て、現在非常勤講師として勤務。

記載者氏名 河西 恵美子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|------|--------|-----|-------------------|------|--------|
| 科コド | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 3年 | 単位 | 2単位 |
| 科目コド | 501220 | 科目名 | ファッショングッズデザイン画 II | 授業期間 | 通年 () |

担当教員(代表) : 河西 恵美子

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッショングッズデザインワークのうえで即戦力として使えるデザイン画の習得と強化。就職活動に活用できるポートフォリオの一端となる課題作成、及び企画力を目指して。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

[ポートフォリオ作成] …3コマ

●マイコレクション

…個々のポートフォリオ作成を実物一作品の構成を通して、デザインプロセスから実物製作の過程やづくりの取組が見えるレイアウトであるよう指導、実物一作品デザインにバリエーション2点作成

[創作デザイン及び企画構成] …デザイン発想の資料収集と探求、バリエーションデザイン表現の強化

●フォルム研究 …4コマ

…異素材とのコラボデザイン展開や新たな素材使いのデザイン研究と、興味深い形状のディテールのフォルム等をイメージに造形をデザイン

●素材構成研究デザイン …3コマ

●コンテスト応募作品 …3コマ

●装飾表現デザイン …羽根や毛皮素材と装飾素材を用いたデザイン表現 …4コマ

●アーティストの絵から発想 …色彩とイメージをデザイン表現に …3コマ

●グッズアイテムデザイン 30 …企画スタイルにて30点のアイテム図構成 …5.5コマ

[時間内課題] …2.5コマ

●時間内演習課題

●前期と期末デザイン画試験

【評価方法】 [S~C・F評価]

評価基準: 学業評価80% (課題作品提出物と前期と後期末試験)、授業姿勢20% (出欠状況、授業態度を考慮)

主要教材図書 : 特になし

参考図書

その他資料 : その他資料: ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等

授業の特徴と担当教員紹介 [特徴]…個々のオリジナル作品集の効果的な構成の習得。ファッショングッズの新たなアイデアをデザイン表現し、活用できる企画構成の一端を諦る。 [担当教員]…学院のF・デザイン専攻科卒業後、専任講師として勤務。その後、ジュエリー会社にてデザイナーを経て、現在非常勤講師として勤務。

記載者氏名 河西 恵美子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|------------------|------|--------|
| 科コード | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 3年 | 単位 | 2 単位 |
| 科目コード | 605500 | 科目名 | グッズマーチンダイジング | 授業期間 | (通年) |

| | |
|------------|---------|
| 担当教員(代表) : | 共同担当者 : |
| 濱口 勝彦 | |

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1. ファッション・マーチャンダイジング実務について指導を行い、シーズンMDの計画背景に基づいたプランニング実習を行い、企業で企画プランナー&デザイナーを目指す学生の為の教育を行う。
2. クリエーターについての知識を深め、そのスタイルの元を知る。
3. 帽子・ジュエリー単体ではなく洋服を含めたトータルでのスタイル表現の演習。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・マーチャンダイジング概論 2コマ
- ・ブランド立案 10コマ
 - ① リサーチ&コンセプトの策定
 - ② 市場の位置づけ
 - ③ ターゲット
 - ④ プロダクトMD立案
- ・企画MD基本計画 14コマ
 - ① 2017年S/Sシーズンコンセプト設定
 - ② 店頭MD イメージヴィジュアル
 - ③ 店頭MD MDストーリー
 - ④ デザイニング&マップ作成
 - ⑤ プロモーション
 - ⑥ デザイン検討会
 - ⑦ MDマップ 商品構成
- ・生産MD 生産仕様書 2コマ
- ・S/S企画プレゼンテーション 2コマ
- ・クリエータ研究とスタイル表現 22コマ
 - ① CHANEL
 - ② DIOR
 - ③ SAINT LAURENT
 - ④ BALENCIAGA
 - ⑤ GIVENCHY
 - ⑥ SWINGING 60's
 - ⑦ 70's London& New York
 - ⑧ 80's Paris
 - ⑨ 90's Paris
 - ⑩ 90's Milano
 - ⑪ 80's日本人デザイナーの台頭
- ・総復習 筆記試験・galleryと評価 2コマ

【評価方法】

作品評価・ブランドコンセプトからS/Sコレクションまでのポートフォリオ（プレゼンテーション資料）&サンプル作品評価
「クリエーター研究」については筆記試験

授業の特徴と担当教員紹介

マーケティングを学びながら実践的に企画に活かす事で、ターゲットを見据えた「作品」ではない「商品」企画を行う。

主要教材図書

参考図書 トレンド情報誌・各クリエーターの作品集

その他資料

記載者氏名 濱口 勝彦

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|-------|---------------------------------|------|------|
| 科コード | 科名 帽子・JD科/バッグデザイン科/シューズデザイン科 3年 | 単位 | 1 単位 |
| 科目コード | 科目名 ビジュアルプレゼンテーション | 授業期間 | 前期 |

| | |
|------------|---------|
| 担当教員(代表) : | 共同担当者 : |
| 柴田 優香 | |

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・VPの社会的な役割を理解し、コンセプトやイメージに基づいたプランニング～実行までの作業を行う。
- ・「作品」を「商品」として捉えることでよりビジネスに近い提案方法を実践する。
- ・ピンワークのテクニックを学びVPや作品作りに活かす。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

| テーマ | 方法 | コマ数 | テーマ | 方法 | コマ数 |
|-------------------------------------|-----------|--------|-----|----|-----|
| ・授業内容説明・実習室説明 | 講義/実習 | 4 | | | |
| ・ピンワーク(アンピエ・ドゥブルピエ・ドレーフ) | 実習 | | | | |
| (ギャザリング・タッキング) | 実習 | | | | |
| ↓ 5つの手法を使用して演習→ ※次回 VP個人演習課題内容説明 | ★評価 | 実習 | ↓ | | |
| ・VP個人演習(参考画像・サンプル説明) | 講義/演習 | 4 | | | |
| プランニング | 演習 | | | | |
| 演習 | ★評価 | 演習 | | | |
| ↓ | ↓ | 演習 | ↓ | | |
| ・VPグループ演習(課題説明・参考画像・サンプル説明) | 講義/グループ活動 | 6 | | | |
| プランニング(コンセプト・イメージ etc) | グループ活動 | | | | |
| 演出小道具準備 | グループ活動 | | | | |
| 演出小道具準備 | グループ活動 | | | | |
| グループ毎に演習 | ★評価 | グループ活動 | | | |
| ↓ | ↓ | グループ活動 | ↓ | | |
| | | | | | |

【評価方法】

- ① 完成作品 ②コンセプトシート ③授業態度 ④出欠状況 総合的に評価

授業の特徴と担当教員紹介

視覚から取り入れる情報の重要性を理解し、ビジュアルプレゼンテーションの社会での役割・効果を学びます。
ビジュアルマーチャンダイザー/デコレーターとして活動しています。

主要教材図書

参考図書 inspiration、ディスプレイ年間 etc

その他資料 オリジナル PowerPoint、参考画像

記載者氏名 柴田 優香

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | |
|--------------|-------------|---------|
| 科コード GC3 | 科名 工芸科2年・3年 | 単位 2単位 |
| 科目コード 900100 | 科目名 英会話 | 授業期間 通年 |

| | |
|------------------|-------------------|
| 担当教員(代表) : 増田和香子 | 共同担当者 : ケイリーン・イズミ |
|------------------|-------------------|

【授業概要、到達目標・レベル設定】

初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッショングを専攻している学生を対象としているため、ファッショング関連の語彙を増すこと、ファッショング関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級（中位）から中級まで。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

| テーマ | 方法 | コマ数 | テーマ | 方法 | コマ数 |
|--|----|-----|--|----|-----|
| Placement test | 演習 | 1 | Unit 19: Comparatives | 演習 | 1 |
| Unit 1: Self-introduction | 演習 | 1 | Unit 20: Fashion items | 演習 | 1 |
| Unit 8: The present tense (time and frequency) | 演習 | 1 | Unit 21: Colors and patterns | 演習 | 1 |
| Unit 9: The past tense (Spring vacation) | 演習 | 1 | Unit 22: Laundry care | 演習 | 1 |
| Unit 10: The perfect tense | 演習 | 1 | Unit 23/ Unit 26: Body and face parts | 演習 | 1 |
| Unit 11: The future tense (will vs. be going to) | 演習 | 1 | Unit 24: Presentation 1 (Outfit of the Day) | 演習 | 1 |
| Unit 12: "wh" questions | 演習 | 1 | Unit 25: Adjectives for fashion | 演習 | 1 |
| Unit 13: Likes and dislikes (gerunds) | 演習 | 1 | Unit 27: Structure of presentation (Sequence connectors) | 演習 | 1 |
| Unit 14: The modal verbs | 演習 | 1 | Unit 28 & 29: Large numbers and shopping | 演習 | 1 |
| Unit 16: Conjunctions | 演習 | 1 | Unit 31: Resume | 演習 | 1 |
| Unit 15: Prepositions | 演習 | 1 | Unit 32: Job interview | 演習 | 1 |
| Unit 17: Asking for and giving directions | 演習 | 1 | Unit 33: Fashion show | 演習 | 1 |
| Review of the spring semester | 演習 | 1 | Oral presentation | 演習 | 1 |

【評価方法】平常点(出席、クラス参加)30%、授業中の小テスト30%、ライティング10%、プレゼンテーション30%の評価基準を用い、S~C・F評価をする。

授業の特徴と担当教員紹介

ブレイスマントテストを行い、レベル別編成とする。テキストは文化服装学院オリジナルのテキストを用い、文法事項やファッショング関係の語彙を再確認する。

主要教材図書 *Essential English for Fashion Students* (文化服装学院編)

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 増田和香子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|------------------|------|------|
| 科コード | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 3年 | 単位 | 1 単位 |
| 科目コード | 945200 | 科目名 | インターンシップb (自由選択) | 授業期間 | (前期) |

担当教員(代表)：板野 景子

共同担当者：大工原 瞳

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事を確認するとともに、学校教育では体験できない実務を学ぶ。また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上とともに、就職に結びつける機会にする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

・研修先、期間

帽子やジュエリーの企業

1週間～2週間 (受け入れ先企業により異なる)

・研修内容

工場見学

工場実務作業

実務作業補助 (デザイン、製作、営業、生産管理など)

商品の検品

など、研修内容はそれぞれの企業や現状により組まれる。

【評価方法】 (学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合を考慮し、自由選択とする。)

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事を確認するとともに、学校教育では体験できない実務を学ぶ。

記載者氏名 板野 景子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | | |
|-------|--------|-----|---------------|----|------|------|
| 科コード | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 | 3年 | 単位 | 4単位 |
| 科目コード | 970000 | 科目名 | 卒業研究・創作 | | 授業期間 | (後期) |

担当教員(代表)：板野 景子 共同担当者： 大工原 瞳

【授業概要、到達目標・レベル設定】

3年間の集大成として、各自が研究テーマを設定し企画デザイン創作する。また、展示発表を通して企画、運営方法とチームワークの重要性を学ぶことを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

選択科目の帽子とジュエリーを中心にトータルコーディネートしたグッズの総合企画制作を行う。

作品は4点以上。又は、それに見合う作品を制作。

バッグデザイン科、シューズデザイン科と共に展示発表の企画、運営を行う。

卒業制作（自由作品）

帽子・ジュエリーを中心にトータルコーディネートしたグッズの総合企画制作

作品4点以上 又は、それに見合う作品

展示台製作

* 選択科目（帽子・ジュエリー）と連動

・・・講義、実習、リサーチ

・・・作品制作

展示発表の企画、運営

(3科合同展示)

・・・グループ活動

平常授業 2コマ×14回〈28コマ〉

平常授業後〈2月〉16日

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

3年間の集大成。各自の研究テーマに基づきデザイン創作、展示を行う
教員は、本校を卒業した専任講師、専門の非常勤講師が担当

記載者氏名 板野 景子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | |
|--------------|---------------------|-----------|
| 科コード GC3 | 科名 帽子・ジュエリーデザイン科 3年 | 単位 1 単位 |
| 科目コード 980030 | 科目名 特別講義Ⅲ | 授業期間 (前期) |

担当教員(代表)：板野 景子 共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション全般に渡る、トレンド情報やプロダクトデザイン。また、グッズに関わるクリエーターや企業デザイナーの仕事。特殊材料やその活用方法などの、多方面にわたる講師による講義や演習を通し、専門科目のより一層の充実を図ることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

| | |
|-----------------------------|--------|
| 1) 好きをビジネスにする ブランドの育て方 | 講義 1コマ |
| 2) 金属アレルギーについて | 講義 1コマ |
| 3) 金属アレルギーに優しいデザインコンテストについて | 講義 1コマ |
| 4) アクセサリートレンド | 講義 1コマ |
| 5) ジュエリー業界の仕事 | 講義 2コマ |
| 6) トレンド情報 | 講義 1コマ |
| 7) 毛皮について | 講義 2コマ |
| 8) 帽子業界の仕事 | 講義 1コマ |
| 9) 起業について | 講義 1コマ |
| 10) 商品管理について | 講義 1コマ |
| 11) 撮影テクニック・作品写真のとり方 | 講義 2コマ |
| 12) クラウドファンディングについて | 講義 1コマ |

【評価方法】

履修認定 (P表示) 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。

記載者氏名 板野 景子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|------------------|------|-----|
| 科コード | GC3 | 科名 | 帽子・ジュエリーデザイン科 3年 | 単位 | 1単位 |
| 科目コード | Z93002 | 科目名 | 校外研修Ⅱ | 授業期間 | 通年 |

| | |
|------------|-------------|
| 担当教員(代表) : | 共同担当者 : |
| 板野 景子 | 山内 祐子 大工原 瞳 |

【授業概要・到達目標・レベル設定】

企業訪問、工場見学、美術工芸品の見学や歴史的文化にふれることにより、感性を磨き豊かな創造性と深い知識を養う。

【授業計画】

○企業、工場見学

- ・ミキモト真珠博物館
- ・CA4LA ファクトリー

○寺社・仏閣見学

- ・伊勢神宮
- ・奈良県

○レポート提出

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況、レポート提出を基に、履修認定の是非を決定する

授業の特徴と担当教員紹介

帽子とジュエリーを扱う企業・工場を見学し見聞を広めることができる様行程を組んでいる。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 板野 景子